

各地で梅が例年より二週間ほど早く満開になっているようです。この分では桜も早そうですね。

それまでに新型肺炎が収まっているといいですね……。

シグリーフケア Side by Side「さばさ」のメールマガジン第 26 号をお届けします。

目次-----

- 1) スタッフのつぶやき
- 2) グリーフ体験談
- 3) イベントのご案内
- 4) メルマガについて
- 5) 風と虹の診療所設立準備委員会について

1) スタッフのつぶやき

新型コロナウイルス感染症対策として、4 月 18 日の講演会を中止させていただきます。4 月 19 日の個人面談は時間を変更して行います。

4 月には流れが変わっている可能性もありますが、感染症対策は大げさにしてちょうどいいと思います。不要不急には違いないですね。

HP や本メルマガのイベント案内に詳細を記載していますのでご確認ください。

今号は上山克彦「特定非営利活動法人 寝屋川市民たすけあいの会 相談支援専門員(社会福祉士・精神保健福祉士)」さんの亡き奥さまへの思いを掲載しています。前回、亡き奥さまのメールをご覧になっていない方も単独でお読みいただけます。

2) グリーフ体験談

大阪城公園の梅は例年のように咲いていた。でもその中を歩く足取りはフワフワしていた。

数時間前に妻と二人で大阪の K 病院にいたのがなにか夢の中の世界のような気がしていた。

彼女は我慢強い女性だった。その彼女が突然、病院へ行くと言い出したのだ。よほ

ど体調が悪いのかと思いながら私も病院へ同行することにした。

K 病院は彼女が気胸で入院して、2度手術を受けた病院である。1度目は胸腔鏡下手術、胸部に小さな穴をいくつか開けてそこから器具を入れて行う手術である。しかし言われているように再発率が高く彼女の場合も再発した。2度目の手術は開胸手術であった。今回は再発防止のため胸部を切開したのち、癒着療法がなされた。退院したのはしばらくは通院していたが、その後は病院へ行くこともなく日常を過ごしていた。

外来受付で受診を申し込むとちょうど彼女が入院した時の主治医が外来担当だった。名前を呼ばれて診察室に入ると T 先生は懐かしそうに言葉をかけてくれた。「調子がまた悪いんです」と彼女が伝えると、「そうですね、ではまずレントゲンを撮りましょう」レントゲンを撮って、しばらく待ってまた診察室へ行くと T 先生の表情が変わっていた。「なぜこんなになるまで来なかったんですか！」それまで温和な口調だった T 先生が問い詰めるような口調で言ったのだ。

「だってまた入院となったら仕事へ行けなくなるから」

「とにかく急いで CT を撮ってきてください」大きな病院の CT は予約を入れておかないとだめなものと思っていたが、T 先生はとにかく緊急ということで指示を出して私たちに CT 室へ行くようにと言った。その声は心なしか重い感じがした。

CT 室の前で私たち二人は無言だった。言葉が出てこない。黙っていても悪い考えばかり出てくるのだが、話す言葉が出てこないのだ。CT を待つ時間がとても遅く、ゆっくりしたものを感じられた。

CT を撮り終えて、外来の待合で待っているとまた診察室に呼ばれた。その時に見た T 先生の顔はとても重いものを背負っているように見えた。

「先生、なにも隠さないで言ってくださいね」と彼女。

「……わかりました。上山さん、肺の上の胸膜にがんが広がっていると思われます。胸膜中皮腫という病名です」

彼女はためらうことなく聞いた。「先生、この先治療を受けたとして生きることのできる割合は何パーセントなんですか」

T 先生はちょっとためらったが「そうですね…3割、30パーセントでしょうか…」次の彼女の言葉に私と T 先生、それとその場にいた外来の看護師さんの三人は顔を見合わせた。「じゃあいいです。もうこのままで」

T 先生があわてて彼女に聞いた。「上山さんそれはどういう意味なんですか？」

「はい、もう治療はしないでこのままでということです」

それから T 先生は彼女に即断すべきではないとか治療方法の選択はあることなどを話しているようであった。ようであった、というのは私にとってその場でのやり取りがなぜか遠い場所でされているような感覚であったから。

どのくらい時間が経ったのか、T先生と彼女の会話は終わっていた。なにがどうなったのかわからないが終わっていた。張りつめた空気の中で彼女が口を開いた。

「では先生、あとどのくらい生きることができますか？」

T先生は一度ぐっと飲みこむようにして、「数か月です……」

「それを知りたかったんです！」と彼女は前を向いて言った。

どうなっているんだ！ 何の話が進んでいるんだ！ 私は目の前で起こっていることを理解できないでいた。彼女になにか言おうとするのだが金縛りにあったように体が動かない。声が出せないでいた。そんな中で看護師さんの言った言葉をなぜか覚えている。

「ご自身の体のことですから……」

混乱した頭で診察室を出て、会計を済ませて病院の外へ出た。そのときやっと彼女が私の顔を見て言葉をかけた。「ごめんね」

多くのことを含んだ言葉であった。彼女が生きてきた40数年、その中で私と出会い共に過ごした年月、そんなことのすべてに投げかけられたような言葉に思えた。

3) イベントのご案内(予告なく変更することがあります)

■講演会 & ワークショップ

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/news-event/>

・2020年4月18日(土)「親の死を経験した時の心身のプロセス～心の専門家が自分を振り返る～」【さばさ】

演者: 江夏亮さん

臨床心理士、公認心理師、日本ゲシュタルト療法学会スーパーバイザー、江夏心の健康相談室主宰 (<https://enatsu-kokoro.com/>)

新型コロナウイルス感染症対策として中止させていただきます。

・2020年4月19日(日) 江夏亮さんによる個人面談

日時: 2020年4月19日(日) 13時半-14時半 14時45分-15時45分 16時-17時 申し込み多数の場合調整させていただきます。

対象: グリーフケアが必要だと感じている方はもちろん、なんとなく心がもやもやする方、江夏さんの個人ワークを体験してみたい方、江夏さんから学びたい方もお申し込みいただけます。複数人での面談はご相談ください。

費用: 18日の講演会中止に伴い、一律 ¥10,000 /50分 とさせていただきます。

※当日お支払いください。

場所: 新大阪丸ビル別館 <https://marubiru-bekkan.com/> ※JR 新大阪駅東口より徒歩2分

※グランフロント大阪から変更となりました。

お申し込み: 締切日を変更します。HPのお問い合わせ <https://www.kazetoniji-clinic.jp/contact/> からご連絡ください。

3月31日(火)19:00 までに、1)希望時間 2)連絡のつくお電話番号を記載の上、ご連絡ください。

締め切り後、折り返しお電話で調整させていただきます。

・2020年10月10日(土) 仮題「傾聴とフォーカシング」

演者: 池見陽(あきら)教授 臨床心理士 医学博士 関西大学 大学院心理学研究科教授

日時: 2020年10月10日(土)14:00~16:30 定員 90名

場所: 大阪市内 詳細未定

概要: 詳細未定

参加費: 事前決済 3,500円(当日会場にて決済 4,000円)※小学生以下無料

4)メルマガについて

■発行 不定期発行です。

■転送など

当メルマガは、グリーフケアがお役に立ちそうな方、そして、グリーフケアに興味がある方へ、

転送していただければ嬉しいです。抜粋・転載はご遠慮くださいませ。

■登録・解除

当メルマガは下記よりご登録することができます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mailmag/acc.cgi?id=1564754504144857>

ご登録していただくと、御礼のメールが配信されます。PDFファイル付きです。

迷惑メールに入ってしまうことがありますので、ご確認ください。

登録時に提供していただいた氏名・住所などの情報は、風と虹の診療所の設立に関

し、

主に統計をとるために利用させていただきます。

また、下記より解除することもできます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mailmag/acc.cgi?id=1564754504144857&m=d>

■バックナンバー

風と虹の診療所設立準備委員会の HP の「メールマガジン」からご覧いただけます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mail/>

■大切な人を病気で亡くされた方の体験談を募集しています。

ご協力いただける場合は「風と虹の診療所設立準備委員会」の HP にある

「お問い合わせ」からご連絡ください。

(当方で加筆・修正させていただくことがあることを御了承ください)

5) 風と虹の診療所設立準備委員会について

グリーフケア Side by Side 愛称「さばさ」と生きるための死への準備教育 (death education) 生老病死 愛称「わんまいる」は

風と虹の診療所設立準備委員会がプロデュースしています。

風と虹の診療所設立準備委員会

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/>

Facebook ページ

<https://www.facebook.com/kazetonijiclinic/>